

令和3年度 富里市地域公共交通会議（千葉県富里市） （地域公共交通計画策定事業）

公共交通の概況・地域の特徴

公共交通の概況

- 民間路線バス（7路線） 高速バス（3路線）
さとバス（コミュニティバス）（2路線） デマンド交通（3ルート） 移送サービス（自家用有償旅客運送）等
- さとバス、デマンド交通の収支率は1割以下
- さとバス車両の更新時期（20年、70万km）
- さとバス利用者は減少傾向かつ極めて少ない
- 交通利便性が高い地域と交通空白不便地域が混在

地域の特徴

- 人口減少や少子高齢化の進行
- 市民ニーズの多様化
- 市内には鉄道駅がない
- 自動車保有台数の増加
- 移動の交通手段は大半が自動車
- 旧岩崎久彌末廣農場別邸公園の整備
- 成田空港の機能強化等に伴うアクセスの必要性



地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

▶ 「地域間ネットワークの確保・維持」

- 周辺鉄道駅（成田、酒々井、八街）へのアクセス強化
- 成田空港機能強化に伴う定住促進及び通勤需要への対応

▶ 「持続可能な公共交通体系の構築」

- デマンド交通の機能の強化
- 地域参加による持続可能な公共交通の確保

▶ 「交通弱者の面的な移動手段の確保」

- 高齢者に配慮したさとバスの見直し
- 高齢者（買い物・通院）の移動手段の確保
- ニーズに対応した、利便性の高い公共交通の維持確保

▶ 「公共交通の利用意識の醸成」

- 公共交通全般に関する情報発信
- 過度な自動車に依存の解消による公共交通への転換

市民ニーズにきめ細やかに対応できる公共交通体系を検討するために、計画策定調査が必要である。

調査の内容

1. 富里市の地域特性・人口・交通特性・上位・関連計画の整理・分析（現状把握調査）

⇒各種データ及び公共交通に関するデータを収集し、地域特性、人口推移、市民の移動傾向を重ね合わせ、地域の傾向を分析・整理した。

2. 市民等の移動実態把握調査（各種アンケート、事業者ヒアリング）

⇒市民アンケート調査、バス利用者アンケート調査、デマンド交通登録者アンケート調査、高校生アンケート調査、集客施設事業者アンケート調査（病院、商業施設等）交通事業者ヒアリング、8地区社会福祉協議会ヒアリングを実施。

アンケート調査及びヒアリング調査を実施し、客観的データに基づく、移動ニーズや、協働の取組による事業の可能性を把握することができた。

3. 富里市の公共交通の課題の整理

⇒上記1、2を基に、公共交通の課題を整理した。

4. 富里市地域公共交通計画（案）の策定

⇒上記3を基に、本計画の【将来像】を掲げ、公共交通施策の目指すべき姿及び基本方針を検討した。将来像の実現を図るため、公共交通の課題への対応を図る視点から、より良くするための公共交通施策を各目標、事業の主体、スケジュールを検討した。

5. 富里市地域公共交通会議の開催

⇒計画策定に向けて、各種内容や施策等に対して議論するために会議を開催した。（令和3年度 5回 開催予定）

面積	53,88 km ²
人口（R3.4.1時点）	49,619人
15歳未満	5,348人
65歳以上	14,196人
高齢化率	28.6%
世帯数	23,730世帯

協議会開催状況

- 協議会の開催状況 5回開催
- ・第1回（4月27日）
富里市地域公共交通計画について
- ・第2回（7月7日）
計画策定に係るアンケート調査について
- ・第3回（10月29日開催）
アンケート調査の結果について
計画の方向性について
- ・第4回（12月22日開催）
骨子案について
- 第5回（2月開催予定）
素案について

調査事業の結果概要

- 目的別の移動先として「買い物・通院」は市内が多い。
- 目的別の移動先として「通勤通学・私事」は市外が多い。
- 日常的な移動として「さとバス」を利用しないと回答した市民が9割以上。
- さとバスは始発ダイヤが早いため、通勤帰宅時間に利用できない。
- 空港アクセスを必要とする市民が多い。
- デマンド交通は登録したが利用していない人が約半数いる。
- デマンド交通のニーズとして「ルート拡大」「予約の廃止」と回答した市民が多い。
- 通学における自家用車送迎による家族の負担が大きい。
- 行きたい場所へ行けるような、公共交通体系にしてほしい。
- 公共交通に関するわかりやすい情報が少ない。
- 将来高齢になってからの移動手段に不安を感じている。
- 安心して免許返納できる公共交通体系が望まれている。
- 鉄道駅のない市の公共交通計画について、多くの市民が期待している。

計画の策定方針(基本方針案、予定する主要事業等)

▶ 将来像

～暮らしを守り、みんなで支え、未来へとつなぐ持続可能な交通体系～

◆ 目指すべき姿及び方針

1. 地域全体を見渡し、市民のニーズにマッチした、富里市に合った最適な公共交通を目指す。 ⇒ 将来を見据えた公共交通体系の構築
2. 地域参加による、地域が自らデザインする持続可能な公共交通を目指す。 ⇒ 地域全体で支える公共交通の構築
3. 公共交通への市民の理解や関心を高める仕組みの構築を目指す。 ⇒ 分かりやすい情報提供の実現

▶ 予定主要事業

⇒ さとバスの見直し、デマンド交通の拡充、地域主体による新たな地域交通の導入に向けた取組、利用促進のための意識啓発

アピールポイント

▶ 多くの市民の声から意見を収集

アンケート調査、ヒアリング等を、郵送による調査だけではなく、あらゆる手段を活用して実施。(防災・防犯メール、Web等)

▶ 日本大学理工学部との包括協定に基づく議論の反映

日本大学理工学部交通システム工学科より先生を委員として登用し、アンケート調査方法や、交通システムの検討方法等、専門的知見から提言をいただき、実現性の高い交通施策・体系の検討をすることができた。

▶ モビリティマネジメントの実施

モビリティマネジメントの一環として市内県立高校の美術部の生徒に富里市地域公共交通計画の表紙デザインを作成及びアンケート調査の実施

次年度以降の取組概要

▶ 新たな公共交通システムの実証・本格運行

⇒ (デマンド交通の拡充)

適切な実証運行期間を設定し、市民のニーズにきめ細やかに対応できるように、評価・改善を実施し令和4年度中の本格運行を目指す。

⇒ (地域主体による新たな地域交通の導入に向けた取組)

本計画の調査で協働の取組による事業の可能性を把握することができた。実現に向け、仕組みづくり等を実施していく。

▶ 分かりやすいチラシの作成

公共交通を利用したくなるような、分かりやすいチラシを作成・配布